編集の趣旨と特色

令和6年度版　高等学校



P.2～5

「美術1」



P.6～7

「美術2」



P.8～9

「美術3」

P.10～14

多彩なQRコンテンツ

P.17～19

検討の観点と内容の特色

内容解説資料

この資料は，一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

光村図書



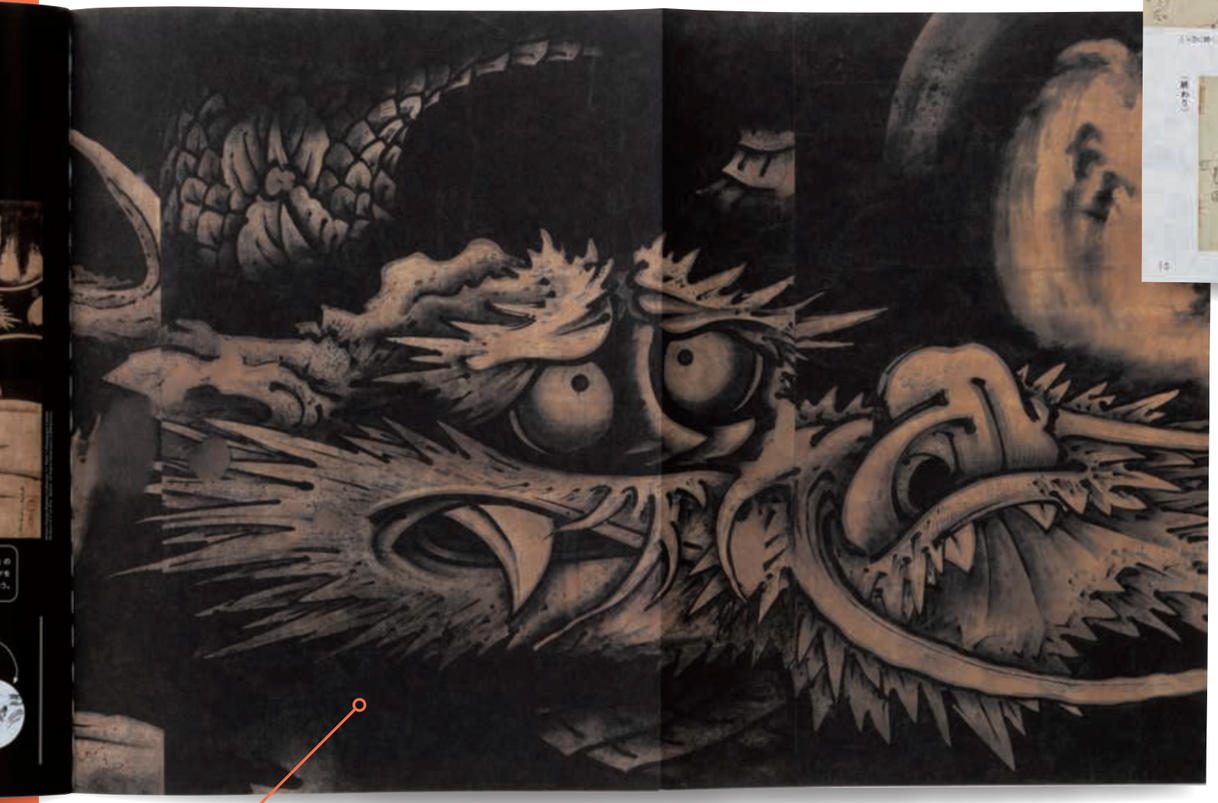
「美術1」

もっとつくりたい，もっと見てみたい

教科書を開いた生徒がもっと「つくりたい」「見てみたい」
と思えるような教科書を目ざしました。

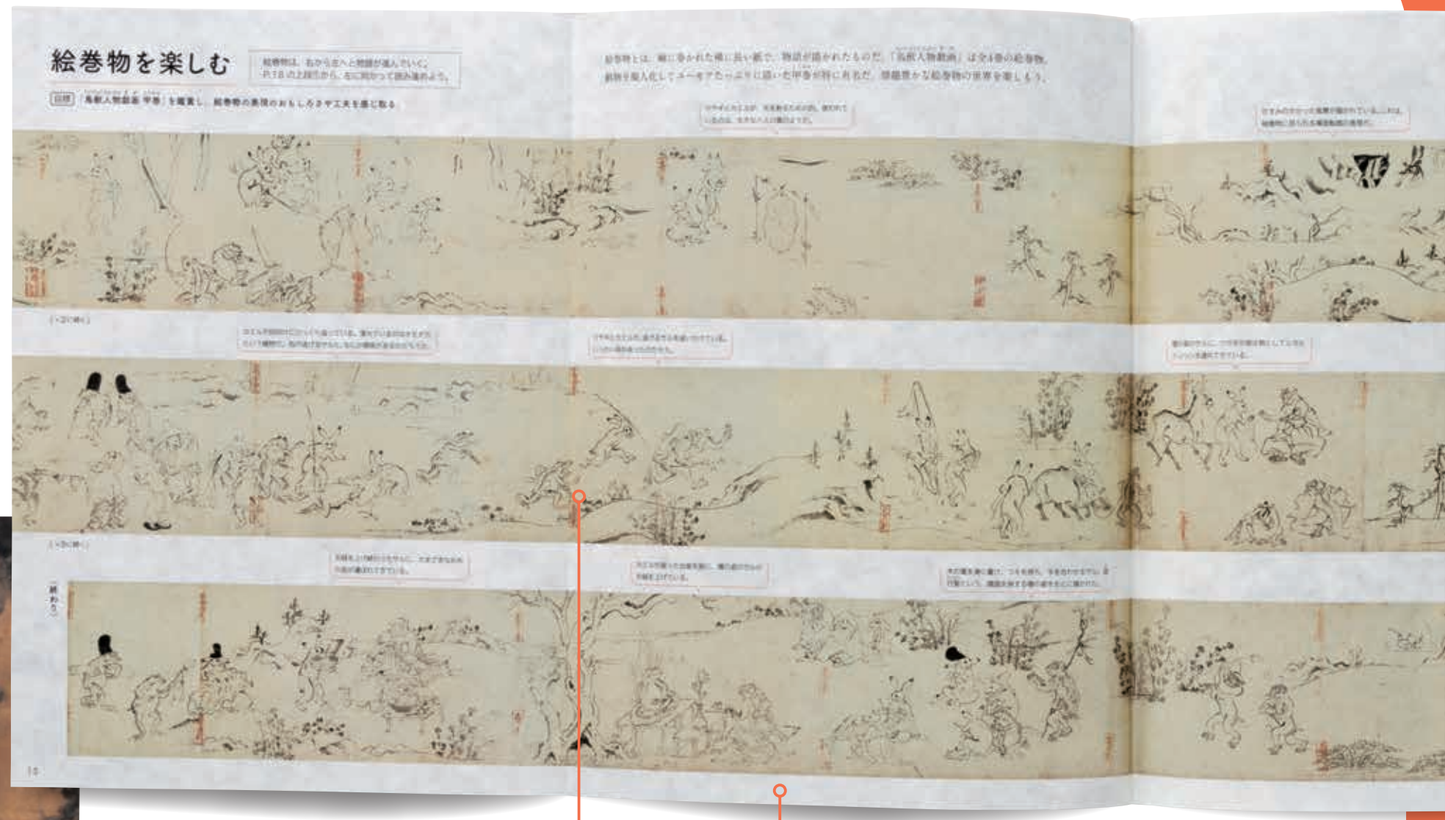
POINT 質にとことんこだわった鑑賞題材

和紙風の用紙に印刷　本物に近い図版を鑑賞できるよう，色や印刷用紙にもとことんこだわりました。



P.13～14「墨で描く」

迫力のある鑑賞図版　曽我蕭白（そがしょうはく）の「雲龍図（うんりゅうず）」を3ページにわたって大きく掲載。
かすれ，にじみなど，墨の多様な表現をじっくり鑑賞することができます。



P.15～17「絵巻物を楽しむ」

編集部 ここがこだわり！

本物に近い風合いを再現するため，さまざまな紙をテストし，最終的に越前和紙の風合いをもつ高級用紙を選びました。

「鳥獣人物戯画（ちょうじゅうじんぶつぎが） 甲巻（こうかん）」をすべて掲載

「鳥獣人物戯画」の中でも特に人気のある甲巻を，始めから終わりまですべて掲載。
ストーリーを考えながら鑑賞することができます。



鑑賞が深まる解説　より鑑賞を深められるよう，適宜吹き出しで解説を入れています。

「美術1」のご紹介

POINT 充実の巻末資料

見やすい，わかりやすい技法資料

高校の美術で使われるほぼすべての技法を掲載しました。
他にも発想の広げ方や美術史など，
必要なときに参照できる資料を網羅しています。

吹き出しでワンポイントアドバイス
各手順のポイントを，吹き出しでわかりやすく示しました。



QRコードで動画を確認
重要な箇所にはテロップが入っており，
技法のポイントをしっかり押さえられます。



手順を横一列で
技法の手順がひと目で捉えられるよう，横一列で示しました。

P.84～85「水彩絵の具で描く」

巻末資料 目次

- さまざまな絵の具
- 鉛筆で描く
- 水彩絵の具で描く
- 油絵の具で描く
- アクリル絵の具で描く
- 日本画の絵の具で描く
- 版画の技法
- 彫刻（塑造）の技法
- 文字をデザインする
- 写真を撮影する
- 映像を撮影する
- 発想の広げ方
- 美術館を楽しむ
- 美術鑑賞を楽しむ手がかり
- 美術史年表
- デザイン史／写真史年表
- 色の特徴を知ろう
  色の性質／色の効果／配色のヒント
- 切り離し式資料
  混色のヒント／色彩図鑑

切り離し式資料「混色のヒント＆色彩図鑑」

学習指導要領で重視されている〔共通事項〕の学習に役立つ，色の資料が充実しています。
巻末に，コンパクトに折りたたんで使える切り離し式の資料をご用意しました。

Step 1 切り離す
ミシン目に沿って，教科書から切り離します。

Step 2 折りたたむ
点線に沿って折りたたみます。

Step 3 活用する
絵を描く際など，さまざまな場面でお使いください。



表面

混色のヒント
色相環を意識して，
どのような色になるかを
考えるための資料です。

絵の具を
使って制作する
ときに便利！





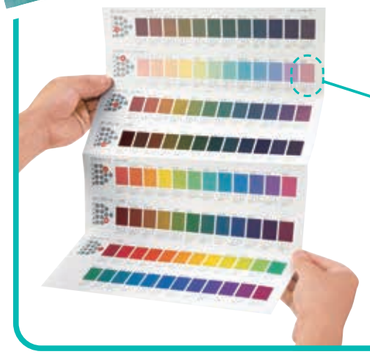
裏面

色彩図鑑
「日本の伝統色」「西洋の伝統色」を
対比して掲載。色名の由来も知ることができます。



「美術2」には切り離し式「トーン別カラーガイド」が付いています！

デジタルで
制作するときに
便利！





❶CMYK値，
❷RGB値，
❸HTMLカラーコードの
3種類の値が
掲載されています。

トーン別カラーガイド
さまざまな色をトーン別に掲載した資料です。配色カードとして使ったり，デジタルで制作する際に活用したりできるカラーガイドです。





「美術2」

美術が，人を，社会を変えていく

生活や社会の中での美術の役割について考え，
自分の表現に生かせるような教科書を目ざしました。

POINT

社会とのつながりを意識した題材構成

生徒たちが，社会と美術とのつながりを
実感できるような作品を選び，題材を構成しました。

環境問題をテーマに制作する作家を大きく掲載

環境問題やサステナビリティ（持続可能性）をテーマにした作品を制作しているアーティスト，オラファー・エリアソンを巻頭で大きく取り上げました。



P.4～5
「作家の手法　オラファー・エリアソン」

制作過程やスタジオの様子を詳しく紹介

巻頭に掲載した「ビューティー」（P.2～3）のアイデアスケッチや，
スタジオでの制作風景を紹介しています。

Audio Guide

鑑賞が深まる音声ガイド

システィーナ礼拝堂の，映像付きの本格的な解説動画をご用意しました。3DCGの技術を用いて，礼拝堂内部の様子を再現しています。教科書掲載のQRコードから視聴することができます。



編集部
ここがこだわり！

教科書のために，ヴァチカン市国から質の高い画像を取り寄せました。大きく掲載した「アダムの創造」の部分は，絵の具の質感まで鑑賞できます。

POINT

ダイナミックな鑑賞題材

ワイドな紙面を生かして，ミケランジェロの代表作「システィーナ礼拝堂 天井画」を
6ページに渡り，大胆に掲載しました。



P.14～18「システィーナ礼拝堂 天井画」

教科書だからできる鑑賞体験

実際のシスティーナ礼拝堂の天井高は約20メートル。現地に行っても，肉眼で細部までじっくり見ることは難しいのが現状です。そのため，両観音開きで天井画を大きく掲載し，作品にぐっと近づいたような感覚で，隅々まで鑑賞できるようにしました。



「美術3」

自分の表現を追求する

生徒一人一人が個性を生かし，生涯に渡って表現を追求するための
手がかりとなるような教科書を目ざしました。

POINT

生徒の将来を見据えて

美術に関わるさまざまな職業の紹介をはじめ，
生活や社会の中での美術の役割について，
考えを深めるためのページを設けました。

さまざまな美術の仕事を紹介

生徒が自分自身の進路を決める際に役立つよう，本，住まい，ファッション，映像に関わる職業を紹介しています。



P.30「社会を支える美術の仕事」

取り上げている職業一覧　全28種類

● 本に関わる職業

- 書体（フォント）デザイナー
- グラフィックデザイナー
- カメラマン
- イラストレーター
- プリンティングディレクター
- 編集者
- DTPオペレーター

● 住まいに関わる職業

- 建築士
- インテリアコーディネーター
- プロダクトデザイナー
- 家具職人
- 陶芸家
- 造園家

● ファッションに関わる職業

- パタンナー
- 縫製士
- ファッションデザイナー
- メイクアップアーティスト
- ジュエリーデザイナー
- テキスタイルデザイナー
- スタイリスト

● 映像に関わる職業

- CGクリエイター
- アニメーター
- 照明技師
- 配給/宣伝
- 映像ディレクター
- 映像カメラマン
- 美術デザイナー
- 編集技師

POINT

高精細図版を生かした比較鑑賞

「俯瞰で描く」をテーマに，江戸時代の作品と現代の作家による作品を掲載しました。
作品の共通点や違いなどについて，話し合いながら鑑賞を深めることができます。

江戸時代　岩佐又兵衛（いわさまたべえ）「洛中洛外図屏風（らくちゅうらくがいずびょうぶ） 舟木本（ふなきぼん）」（部分）



P.12～13「比べて鑑賞する　俯瞰で描く」

Audio Guide

鑑賞が深まる音声ガイド

「洛中洛外図屏風 舟木本」の，映像付きの本格的な解説動画をご用意しました。描かれている街並みや絵師の表現の工夫について，詳しく紹介しています。教科書掲載のQRコードから視聴することができます。



編集部ここがこだわり！

細部まで鑑賞できるよう，それぞれの作品を2ページ大で掲載しました。絵の中の人物一人一人の様子まで，はっきりと見ることができます。

現代

山口晃（やまぐちあきら）「百貨店圖（ひゃっかてんず） 日本橋三越（にほんばしみつこし）」



P.14～15「比べて鑑賞する　俯瞰で描く」

多彩なQRコンテンツ

題材や資料のページの随所にQRコードを掲載。動画などのコンテンツにリンクしています。
教科書と合わせて使うことで，学びがさらに深まります。

Audio Guide

鑑賞が深まる音声ガイド

大きく取り上げた鑑賞作品については，映像付きの本格的な解説動画をご用意しました。作品の時代背景や作家の表現の工夫などを解説していますので，視聴することで鑑賞をより深めることができます。



北斎の滝を描いたシリーズ「諸国瀧廻り」の説明や，モデルになった滝の映像などをまとめた，作品の理解を深める動画です。

「諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝」
葛飾北斎
（美術1 P.21）

編集部 ここがこだわり！
作品の時代背景や作家の表現の工夫など，鑑賞が深まる内容を3分程度にぎゅっと凝縮しました。

【画面】





【音声】

崖の上から，勢いよく流れる大きな滝。
江戸時代に活躍した浮世絵師・葛飾北斎の作品です。
この絵は日本全国の有名な滝を
八つ収めた「諸国瀧廻り」という
木版画シリーズの1枚，
日光の霧降ノ滝をあらわしたものです。
実際の霧降ノ滝を見てみましょう。
高さ75メートル。
ごつごつした岩に水が当たり，
まるで霧が降るように流れ落ちることから，
この名前がついたといわれます。（以下略）

美術1



「樹花鳥獣図屏風」
伊藤若冲
（P.11）



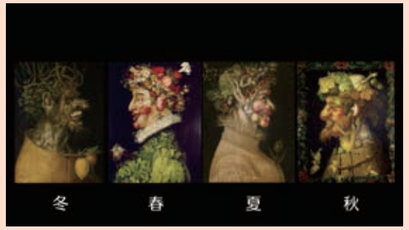
「グランド・ジャット島の日曜日の午後」
ジョルジュ・スーラ
（P.11）



「雲龍図」
曽我蕭白
（P.12）



「鳥獣人物戯画甲巻」
（P.18）



「夏」
ジュゼッペ・アルチンボルド
（P.31）



「みかけはこはゐがとんだいゝ人だ」
歌川国芳
（P.31）



「四天王立像」
（P.36）



「ノートル・ダム・デュ・オー礼拝堂」
ル・コルビュジエ
（P.65）

美術2



「システィーナ礼拝堂」
（P.13）

美術3



「洛中洛外図屏風 舟木本」
岩佐又兵衛
（P.13）

表現を支える技法動画

鉛筆デッサン，水彩画，油彩画など，よく使われる技法を
解説する動画をご用意しています。短時間にまとめられているので，
自主学習の際にも，必要な技法を何度も確認することができます。



色鉛筆のタッチの違い
（美術1 P.7）

筆圧による濃淡の出し方など，タッチによる効果の違いを紹介。



水彩の技法 にじみ・ぼかし・吸い取り・かすれ
（美術1 P.7）

にじみ，ぼかし，吸い取り，かすれという四つの技法を紹介。



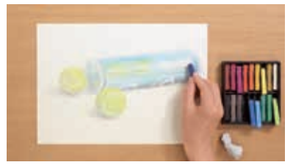
身近なものを描く（水彩絵の具）★
（美術1 P.7）

水彩絵の具で描く手順を紹介。色の重ね方などがわかります。



身近なものを描く（色鉛筆）★
（美術1 P.7）

色鉛筆で描く手順を紹介。色の重ね方や陰影のつけ方などがわかります。



身近なものを描く（パステル）★
（美術1 P.7）

パステルで描く手順を紹介。色をぼかす方法などがわかります。



水墨画のさまざまな技法
（美術1 P.12）

水墨画のさまざまな技法を紹介。かすれた線の描き方などがわかります。



鉛筆で静物を描く★
（美術1 P.80／美術2 P.66／美術3 P.38）

鉛筆デッサンの手順を紹介。構図の決め方や線の重ね方などがわかります。



カッターナイフで鉛筆を削る
（美術1 P.80）

カッターや鉛筆の持ち方など，鉛筆の削り方を丁寧に紹介。



鉛筆で石膏像を描く★
（美術1 P.82／美術2 P.66／美術3 P.38）

明暗の調子のつけ方など，石膏像の鉛筆デッサンの手順を紹介。



水彩絵の具で風景を描く★
（美術1 P.84／美術2 P.66／美術3 P.38）

にじみや洗い出しなど，水彩絵の具で風景を描く手順を紹介。



油絵の具で静物を描く★
（美術1 P.86／美術2 P.66／美術3 P.38）

油絵の具で描く手順を紹介。下塗りのしかた，ナイフの使い方などがわかります。



平塗りでリンゴを描く★
（美術1 P.89／美術2 P.67／美術3 P.39）

アクリル絵の具で平塗りをする手順を紹介。筆の使い分けなどがわかります。



日本画の絵の具で花を描く★
（美術1 P.90／美術2 P.67／美術3 P.39）

骨描きや重色など，日本画の絵の具で描く際の基本的な手順を紹介。



多版多色刷木版の手順★
（美術1 P.93／美術2 P.22,67／美術3 P.39）

多版多色刷木版の手順を紹介。彫刻刀の使い方などがわかります。



粘土で手の彫刻をつくる★
（美術1 P.96／美術2 P.67／美術3 P.39）

土粘土でつくる手順を紹介。粘土のつけ方，へらの使い方などがわかります。



レタリングの基本
（美術1 P.98）

レタリングの手順を紹介。下描きや転写のしかたなどの基礎がわかります。

※ ★がついているのは，早回し動画です。

作家・作品関連動画

教科書に掲載した作品の制作過程や，作家のインタビュー動画，
作品関連動画などを見ることができます。



画家・浅井裕介（あさいゆうすけ）インタビュー
（美術1 P.4）



彫刻家・舟越 桂（ふなこしかつら）ドキュメンタリー
（美術1 P.39）



吉岡徳仁（よしおかとくじん）「虹の教会」
（美術1 P.120）



風間サチコ「決闘！ 硫黄島（いおうじま）（近代五種麿参上（きんだいごしゅまろさんじょう））」制作風景
（美術2 P.23）



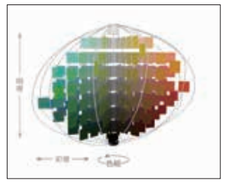
「ジョルジュ・ルース アート プロジェクト in 宮城」制作風景
（美術2 P.32）



安室奈美恵（あむろなみえ）「Golden Touch」
（美術2 P.55）

色の資料

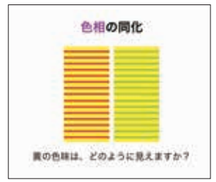
色について深く学べるCG動画やアニメーションなどを見ることができます。



色立体を知ろう
（美術1 P.114／美術2 P.67／美術3 P.39）



色の対比
（美術1 P.116）



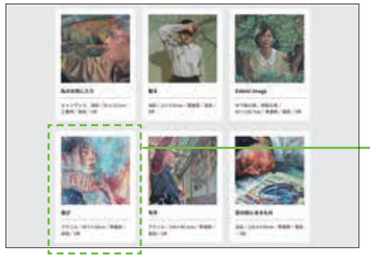
色の同化
（美術1 P.116）



配色のヒント
（美術1 P.119）

全国の生徒作品

全国の高校生の作品を，作者の言葉とともに
見ることができ，生徒が自分の表現に生かせます。





クリックすると，拡大画像と
作者の言葉を見ることができます。

美術史ワード

美術史に関連する用語をわかりやすく解説。
用語辞典のように活用できます。



QRコンテンツ一覧表

美術1

ジャンル	項目	掲載ページ
技法動画	色鉛筆のタッチの違い	P.7
	水彩の技法　にじみ・ぼかし・吸い取り・かすれ	P.7
	身近なものを描く（水彩絵の具）	P.7
	身近なものを描く（色鉛筆）	P.7
	身近なものを描く（パステル）	P.7
	水墨画のさまざまな技法	P.12
	鉛筆で静物を描く	P.80
	カッターナイフで鉛筆を削る	P.80
	鉛筆で石膏像を描く	P.82
	水彩絵の具で風景を描く	P.84
	油絵の具で静物を描く	P.86
	平塗りでリンゴを描く	P.89
	日本画の絵の具で花を描く	P.90
	多版多色刷木版の手順	P.93
	粘土で手の彫刻をつくる	P.96
	レタリングの基本	P.98
音声ガイド	「樹花鳥獣図屏風」（伊藤若冲）	P.11
	「グランド・ジャット島の日曜日の午後」（ジョルジュ・スーラ）	P.11
	「雲龍図」（曽我蕭白）	P.12
	「鳥獣人物戯画 甲巻」	P.18
	「諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝」（葛飾北斎）	P.21
	「夏」（ジュゼッペ・アルチンボルド）	P.31
	「みかけはこはゐがとんだいゝ人だ」（歌川国芳）	P.31
	「四天王立像」	P.36
	「ノートル・ダム・デュ・オー礼拝堂」（ル・コルビュジエ）	P.65
作家・作品関連動画	画家・淺井裕介 インタビュー	P.4
	画家・遠藤彰子 制作過程	P.29
	彫刻家・舟越 桂 ドキュメンタリー	P.39
	彫刻家・三沢厚彦 制作過程	P.41
	「ニャッキ！」（きりかぶレコード）より	P.76
	「もじゅうりょくのレイヤード」	P.99
	吉岡徳仁「虹の教会」	P.120
全国の生徒作品	身近なものを描く	P.6
	風景を描く	P.22
	想像した世界を描く	P.26
	自己をあらわす	P.32
	メッセージを広く伝える	P.48
	人物を撮影する	P.66
	テーマを決めて撮影する	P.70
	映像を撮影する	P.102
色の資料	色立体を知ろう	P.114
	色の対比	P.116
	色の同化	P.116
	配色のヒント	P.119
美術史ワード	印象派	P.22
	ジャポニスム	P.22
	シュルレアリスム	P.27
	キュビスム	P.45
	美術史ワード（トップページ）	P.108
学習に役立つリンク	TSDO（佐藤卓デザイン事務所）	P.50
	アンドレアス・グルスキー公式サイト	P.73

QRコンテンツのトップページにリンクしています。

美術1　美術2　美術3

美術2

ジャンル	項目	掲載ページ
技法動画	多版多色刷木版の手順	P.22,67
	鉛筆で静物を描く	P.66
	鉛筆で石膏像を描く	P.66
	水彩絵の具で風景を描く	P.66
	油絵の具で静物を描く	P.66
	平塗りでリンゴを描く	P.67
	日本画の絵の具で花を描く	P.67
	粘土で手の彫刻をつくる	P.67
音声ガイド	「システィーナ礼拝堂」	P.13
作家・作品関連動画	風間サチコ「決闘！硫黄島（近代五種磨参上）」制作風景	P.23
	「ジョルジュ・ルース アートプロジェクト in 宮城」制作風景	P.32
	「TAKAO 599 MUSEUM」の館内の様子／ピクトグラムの動画	P.35
	「CanguRo」を動画で見てみよう	P.41
	写真家・畠山直哉インタビュー	P.51
	「ライトブルー」の映像を見てみよう	P.54
	「ワンダフル」の映像を見てみよう	P.55
	「Golden Touch」の映像を見てみよう	P.55
全国の生徒作品	人物を描く	P.8
	心の中の風景	P.20
	素材と向き合う	P.28
	風景を撮影する	P.48
色の資料	色の三属性と色立体	P.67
美術史ワード	キュビスム	P.10,26
	抽象美術	P.26
	抽象表現主義	P.27
	美術史ワード（トップページ）	P.67
学習に役立つリンク	鈴木其一「朝顔図屏風」右隻	P.6
	「TAKAO 599 MUSEUM」公式サイト	P.35
	武蔵野美術大学 美術館・図書館 美術資料データベース	P.42
	隈研吾建築都市設計事務所	P.46

美術3

ジャンル	項目	掲載ページ
技法動画	鉛筆で静物を描く	P.38
	鉛筆で石膏像を描く	P.38
	水彩絵の具で風景を描く	P.38
	油絵の具で静物を描く	P.38
	平塗りでリンゴを描く	P.39
	日本画の絵の具で花を描く	P.39
	多版多色刷木版の手順	P.39
	粘土で手の彫刻をつくる	P.39
音声ガイド	「洛中洛外図屏風 舟木本」（岩佐又兵衛）	P.13
作品関連動画	ロバート・スミッソン「螺旋形の突堤」	P.18
全国の生徒作品	ものからの問いかけ	P.16
色の資料	色の三属性と色立体	P.39
美術史ワード	美術史ワード（トップページ）	P.39
学習に役立つリンク	ヴォルフガング・ライプ「タンポポの花粉」制作風景	P.4
	ショーン・タン公式サイト	P.8
	フリーダ・カーロ美術館公式サイトとカーロの作品	P.11
	ジャネット・エシェルマン公式サイト	P.18
	ビルバオ・グッゲンハイム美術館公式サイト	P.20
	イスラム美術館公式サイト	P.20
	ルーヴル美術館公式サイトとオンラインツアー	P.20
	「UENO PLANET」	P.22
	tha ltd.公式サイト	P.22
	『せんはうたう』紹介サイト	P.24
	Atelier HOKO公式サイト	P.24
	宮島達男公式サイト	P.28



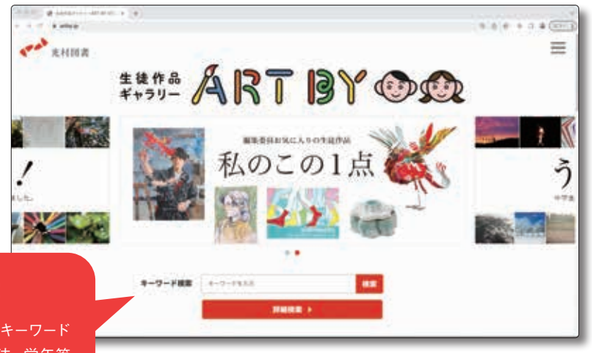
ART BY STUDENTSでは
約1,000点の生徒作品を掲載！

生徒作品ギャラリー ART BY

全国の中学生と高校生の作品を集めた
日本最大規模の生徒作品アーカイブサイトです。

● 作品ジャンル一覧

身近なものを表す
自然物を表す
生き物を表す
人物を表す
風景を表す
想像して表す
素材を生かして表す
自己を表す
伝達のデザイン
写真で表す
動画をつくる



検索機能が充実！

作品を探しやすいよう，キーワード検索の他，描画材や技法，学年等による絞り込み機能をつけました。

※作品ジャンルおよび点数は2023年1月時点

令和6年度 教科書の題材構成

※●は表現，◆は鑑賞中心の題材をあらわしている。

美術1 （38光村 美Ⅰ 701）

分野等		題材		ページ
		目次／前書き		P.2～3
はじめに		作家の手法　淺井裕介		P.4～5
絵画・彫刻	●	身近なものを描く		P.6～7
		作家の手法　中島千波		P.8～9
	◆	［比べて鑑賞する］桝や点で描く		P.10～11
	●	墨で描く		P.12～14,19
	◆	絵巻物を楽しむ　鳥獣人物戯画		P.15～18
	◆	［作家の生涯と作品］葛飾北斎		P.20～21
	●	風景を描く		P.22～23
		作家の手法　津上みゆき		P.24～25
	●	想像した世界を描く		P.26～27
		作家の手法　遠藤彰子		P.28～29
	◆	［比べて鑑賞する］組み合わせる		P.30～31
	●	自己をあらわす　※映像メディア表現を含む		P.32～34
		作家の手法　横尾忠則		P.35
	◆	仏像の美		P.36～37
	●	生命感をあらわす		P.38～39
		作家の手法　三沢厚彦		P.40～41
	●	場所との対話		P.42～43
	◆	［作家の生涯と作品］パブロ・ピカソ		P.44～47
デザイン	●	メッセージを広く伝える		P.48～49
		作家の手法　佐藤 卓		P.50～51
	●	マークやサインで伝える		P.52
		作家の手法　廣村正彰		P.53
	●	文様で飾る		P.54～56
		作家の手法　皆川 明		P.57
	●	パッケージのデザイン		P.58～59
	◆	［比べて鑑賞する］スプーンのデザイン		P.60～61
	◆	空間をデザインする		P.62～63
	◆	［作家の生涯と作品］ル・コルビュジエ		P.64～65
映像メディア表現	●	人物を撮影する		P.66～67
	◆	［比べて鑑賞する］人を撮る		P.68～69
	●	テーマを決めて撮影する		P.70～71
	◆	写真表現の可能性		P.72～73
	●	アニメーションをつくる		P.74～75
		作家の手法　伊藤有壱		P.76
資料		さまざまな絵の具		P.78～79
		鉛筆で描く		P.80～83
		水彩絵の具で描く		P.84～85
		油絵の具で描く		P.86～87
		アクリル絵の具で描く		P.88～89
		日本画の絵の具で描く		P.90～91
		版画の技法		P.92～95
		彫刻（塑造）の技法		P.96～97
		文字をデザインする		P.98～99
		写真を撮影する		P.100～101
		映像を撮影する		P.102～103
		発想の広げ方		P.104～105
		美術館を楽しむ		P.106
		美術鑑賞を楽しむ手がかり		P.107
		美術史年表		P.108～110
		デザイン史年表／写真史年表		P.111～113
		色の特徴を知ろう	色の性質	P.114～115
			色の効果	P.116～117
			配色のヒント	P.118～119
		切り離し式資料	色彩図鑑	P.121～122
			混色のヒント	P.123～124
		後書き		P.120,125

美術2 （38光村 美Ⅱ 701）

分野等		題材	ページ
		目次／前書き	P.2～3
はじめに		作家の手法　オラファー・エリアソン	P.4～5
絵画・彫刻	◆	［比べて鑑賞する］花を描く	P.6～7
	●	人物を描く	P.8～9
	●	人の形を追求する	P.10～11
	◆	祈りの場を彩る	P.12～13
		システィーナ礼拝堂　天井画	P.14～19
	●	心の中の風景	P.20～21
	●	版表現の可能性	P.22,24～25
		作家の手法　風間サチコ	P.23
	◆	抽象への誘い	P.26～27
	◆	素材と向き合う	P.28～29
		作家の手法　青木野枝	P.30～31
	◆	不思議な空間をつくる	P.32～33
デザイン	●	トータルデザインを考える	P.34～35
	◆	［作家の生涯と作品］亀倉雄策	P.36～37
	●	問題解決のためのデザイン	P.38～39
		作家の手法　山中俊治	P.40～41
	◆	［比べて鑑賞する］椅子のデザイン	P.42～43
	●	住まいをデザインする	P.44～45
		作家の手法　隈 研吾	P.46～47
映像メディア表現	●	風景を撮影する	P.48～50
		作家の手法　畠山直哉	P.51
	◆	採集するように撮影する	P.52～53
	●	ミュージックビデオをつくる	P.54～55
資料		写真撮影の基本	P.56～57
		写真を編集する	P.58～59
		漫画表現の技法	P.60～61
		アニメーションの歴史	P.62～63
		絵に隠された謎を読み解く	P.64～65
		学習を支える資料一覧	P.66～67
		切り離し式資料　トーン別カラーガイド	P.69～72
		後書き	P.68，73

美術3 （38光村 美Ⅲ 701）

分野等		題材	ページ
		目次／前書き	P.2～4
はじめに		私と美術	P.5～7
絵画・彫刻	●	鉛筆の可能性	P.8～9
	◆	［作家の生涯と作品］フリーダ・カーロ	P.10～11
	◆	［比べて鑑賞する］俯瞰で描く 「洛中洛外図屏風」「百貨店圖 日本橋三越」	P.12～15
	●	ものからの問いかけ	P.16～17
	◆	自然との対話	P.18～19
デザイン	◆	世界の美術館と出会う	P.20～21
	◆	ウェブデザインを考える	P.22
		作家の手法　中村勇吾	P.23
	●	本をデザインする	P.24～25
映像メディア表現	●	演出して撮る	P.26～27
	◆	映像を体感する	P.28～29
資料		社会を支える美術の仕事	P.30～33
		ポートフォリオをつくる	P.34～35
		美術館の役割	P.36～37
		学習を支える資料一覧	P.38～39
		後書き	P.40～41

令和6年度版教科書
検討の観点と内容の特色　高等学校用 美術1

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅰ	美術1	38 光村	美Ⅰ 701	光村図書出版

観点	特色・具体例		該当ページ
❶ 内容の選択・程度			
◎学習指導要領，教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的，基本的事項の理解や，その習得のため，適切な配慮がなされているか。	学習指導要領に示された「美術Ⅰ」の目標・内容を踏まえ，A 表現・B 鑑賞の題材がバランスよく，相互に関連を図りながら適切に配置されている。		教科書全般
	日本や西洋の美術だけにとどまらず，幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており，生涯を通して美術文化について理解が深まるよう配慮されている。		
	各題材や巻末資料の中で，作品をつくるときの手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており，表現活動に生かすことができる。		
❷ 組織・配列・分量			
◎内容の組織，配列，分量は，学習指導を有効に進められるように考慮されているか。	題材	題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻，デザイン，映像メディア表現の分野別に整理され，バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており，学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。	教科書全般
		各題材では学習のねらいを示した目標が記されており，学習指導を効果的に進めることができる。	教科書全般
		表現中心の題材には，「作家の手法」というページが設けられている。生徒が作品の主題を生み出す手がかりとできるよう，作家の発想や制作過程が詳しく示されている。	P.4～5，8～9，24～25，28～29，35，40～41，50～51，53，57，76
		表現中心の題材の随所に，作品を発想し制作する際に参考になる「表現のヒント」が掲載されている。	P.7，12，23，59
		襖絵や絵巻物，浮世絵が和紙風の用紙に印刷されており，本物に近い風合いで鑑賞することができる。	P.13～20
		鑑賞中心の題材「比べて鑑賞する」では，作品を比較鑑賞することで共通点や相違点について対話したり，それぞれの作品のよさを感じ取ったりするなど，実感的に理解を深めることができる。	P.10～11，30～31，60～61，68～69
	巻末資料	巻末に「鉛筆で描く」「水彩絵の具で描く」「油絵の具で描く」といった技法についての資料が設けられており，制作の流れや用具の使い方を適宜参照しながら学習指導を進めることができる。	P.80～103
		色彩に関する巻末資料は計10ページ設けられ，〔共通事項〕の指導に生かすことができる。「混色のヒント」「色彩図鑑」は教科書から切り離すことができ，折りたたんで持ち運ぶことができる。	P.114～119，121～124
		観音開き3ページにわたる「美術史年表」では，日本及び諸外国の美術を歴史の流れや文化的背景とともに理解することができる。	P.108～110
		「デザイン史年表」では社会状況の変化に対応したデザインの歴史が，「写真史年表」では撮影機材の進歩の歴史と各時代の写真作品が整理され，デザインや映像メディア表現の分野の歴史を学ぶことができる。	P.111～113
	QRコンテンツ	各題材や巻末資料には適宜QRコードが掲載されており，関連するQRコンテンツとリンクしている。大きく掲載する鑑賞図版は，動画付きの音声ガイドとリンクしており，鑑賞を深めることができる。	教科書全般
		表現中心の題材および巻末資料は，鉛筆デッサンをはじめ水彩絵の具を用いた風景画や油絵の具を用いた静物画など，さまざまな技法動画とリンクしている。	P.7，12，80，82，84，86，89，90，93，96，98
		全国の生徒作品を掲載したQRコンテンツが，関連する題材とリンクしている。多様な生徒作品を鑑賞し，自分の表現に生かすことができる。	P.6，22，26，32，48，66，70，102
❸ 表記・表現および使用上の便宜			
◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ◎印刷の鮮明さ，活字の大きさ，行間，製本などは適切か。	表記・表現	用語や表記は統一されており，記述のしかたも適切である。写真・図版も鮮明で効果的である。	教科書全般
		教科書に使用されているマークは，誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり，学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。	
	造本	A4ワイド判（297×232㎜）の紙面を生かし，2ページ大以上での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに，作品を細部まで鑑賞することができる。	
		製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により，画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また，環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。	
	UD・特別支援教育への配慮	カラーユニバーサルデザイン，特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており，誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつくられている。	
		活字は鮮明で読みやすい大きさ，フォントが使用されており，キャプションなどの比較的小さい文字にはUDフォントが使用されている。	
❹ 総合所見			
◎上記観点から見た，全体的・総合的な当教科書の特徴。	学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され，幅広い表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案，表現と鑑賞の各題材で活用できる多様な資料などが盛り込まれている。「美術の幅広い創造活動」を通して，「生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅰ」の学習指導要領の目標に合致している。		教科書全般

令和6年度版教科書
検討の観点と内容の特色　高等学校用 美術2

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅱ	美術2	38 光村	美Ⅱ 701	光村図書出版

観点	特色・具体例	該当ページ
❶ 内容の選択・程度		
◎ 学習指導要領，教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ◎ 基礎的，基本的事項の理解や，その習得のため，適切な配慮がなされているか。	学習指導要領に示された「美術Ⅱ」の目標・内容を踏まえ，A表現・B鑑賞の題材がバランスよく，相互に関連を図りながら適切に配置されている。	教科書全般
	「美術Ⅰ」の学習を基礎にして，美的体験を深め，生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成することをねらいとする「美術Ⅱ」の性格を踏まえて，学習内容が工夫されている。	
	日本や西洋の美術だけにとどまらず，幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており，生涯を通して美術文化について理解が深まるよう配慮されている。	
	各題材や巻末資料の中で，作品をつくるときの手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており，表現活動に生かすことができる。	
❷ 組織・配列・分量		
◎ 内容の組織，配列，分量は，学習指導を有効に進められるように考慮されているか。	題材：題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻，デザイン，映像メディア表現の分野別に整理され，バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており，学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。	教科書全般
	題材：各題材では学習のねらいを示した目標が記されており，学習指導を効果的に進めることができる。	教科書全般
	題材：「作家の手法」というページでは，生徒が作品の主題を生み出す手がかりとできるよう，作家の発想や制作過程が詳しく示されている。	P.4～5，23，30～31，40～41，46～47，51
	題材：掲載作品のアイデアスケッチが題材の随所に掲載されており，生徒が作品の主題を生み出す手がかりとすることができる。	教科書全般
	題材：鑑賞中心の題材「比べて鑑賞する」では，作品を比較鑑賞することで共通点や相違点について対話したり，それぞれの作品のよさを感じ取ったりするなど，実感的に理解を深めることができる。	P.6～7，42～43
	巻末資料：色彩に関する巻末資料「トーン別カラーガイド」は，配色を考えたり，デジタルで色をつくる際に活用することができる。また，教科書から切り離すことができ，折りたたんで持ち運ぶことができる。	P.69～72
	巻末資料：写真に関する資料「写真撮影の基本」「写真を編集する」では，撮影の技法だけでなく，データを適切に編集して保存する方法を掲載しており，端末を使った学習にも活用することができる。	P.56～59
	巻末資料：「漫画表現の技法」では，実際の漫画作品の制作過程を例に，漫画制作の流れを学ぶことができる。また，多様な表現技法を用いた作品が紹介されており，幅広い表現に挑戦する手がかりとすることができる。	P.60～61
	巻末資料：「アニメーションの歴史」では，日本や世界のアニメーションの歴史が各時代のキーワードや図版とともに整理されており，アニメーションの誕生から21世紀のアニメーションに至るまでの流れを理解することができる。	P.62～63
	QRコンテンツ：各題材や巻末資料には適宜QRコードが掲載されており，関連するQRコンテンツとリンクしている。両観音開きで掲載された「システィーナ礼拝堂」には，動画付きの音声ガイドが用意され，鑑賞を深めることができる。	教科書全般
	QRコンテンツ：巻末資料「学習を支える資料一覧」のQRコンテンツでは，鉛筆デッサンをはじめ，水彩絵の具を用いた風景画や油絵の具を用いた静物画などさまざまな作品の制作手順が，動画で詳しく紹介されている。また，色の仕組みを理解するための色立体の解説動画や，美術史の用語の解説も見ることができ，知識を深めることができる。	P.66～67
	QRコンテンツ：全国の生徒作品を掲載したQRコンテンツが，関連する題材とリンクしている。多様な生徒作品を鑑賞し，自分の表現に生かすことができる。	P.8，20，28，48
❸ 表記・表現および使用上の便宜		
◎ 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎ 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ◎ 印刷の鮮明さ，活字の大きさ，行間，製本などは適切か。	表記・表現：用語や表記は統一されており，記述のしかたも適切である。写真・図版も鮮明で効果的である。	教科書全般
	表記・表現：教科書に使用されているマークは，誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり，学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。	
	造本：A4 ワイド判（297 × 232㎜）の紙面を生かし，2 ページ大以上での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに，作品を細部まで鑑賞することができる。	
	造本：製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により，画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また，環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。	
	UD・特別支援教育への配慮：カラーユニバーサルデザイン，特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており，誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつくられている。	
	UD・特別支援教育への配慮：活字は鮮明で読みやすい大きさ，フォントが使用されており，キャプションなどの比較的小さい文字にはUDフォントが使用されている。	
❹ 総合所見		
◎上記観点から見た，全体的・総合的な当教科書の特徴。	学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され，表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案，表現と鑑賞の各題材で活用できる資料などが盛り込まれている。「美術の創造的な諸活動」を通して，「生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅱ」の学習指導要領の目標に合致している。	教科書全般

令和6年度版教科書
検討の観点と内容の特色　高等学校用 美術3

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅲ	美術3	38 光村	美Ⅲ 701	光村図書出版

観点	特色・具体例	該当ページ
❶ 内容の選択・程度		
◎学習指導要領，教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的，基本的事項の理解や，その習得のため，適切な配慮がなされているか。	学習指導要領に示された「美術Ⅲ」の目標・内容を踏まえ，A 表現・B 鑑賞の題材がバランスよく，相互に関連を図りながら適切に配置されている。	教科書全般
	「美術Ⅰ」および「美術Ⅱ」の学習を基礎にして，美的体験を豊かにし，生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成することをねらいとする「美術Ⅲ」の性格を踏まえて，学習内容が工夫されている。	
	日本や西洋の美術だけにとどまらず，幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており，生涯を通して美術を愛好し，美術文化を尊重することができるよう配慮されている。	
	各題材や巻末資料の中で，作品をつくるときの手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており，表現活動に生かすことができる。	
❷ 組織・配列・分量		
◎内容の組織，配列，分量は，学習指導を有効に進められるように考慮されているか。	題材：題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻，デザイン，映像メディア表現の分野別に整理され，バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており，学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。	教科書全般
	題材：各題材では学習のねらいを示した目標が記されており，学習指導を効果的に進めることができる。	教科書全般
	題材：掲載作品のアイデアスケッチが題材の随所に掲載されており，生徒が作品の主題を生み出す手がかりとすることができる。	教科書全般
	題材：鑑賞中心の題材「比べて鑑賞する」では，作品を比較鑑賞することで共通点や相違点について対話したり，それぞれの作品のよさを感じ取ったりするなど，実感的に理解を深めることができる。	P.12～15
	巻末資料：「社会を支える美術の仕事」では，美術に関わるさまざまな職業が紹介されている。イラストを効果的に用いた紙面で，美術への興味・関心を喚起させ，キャリア教育につながる内容である。	P.30～33
	巻末資料：「ポートフォリオをつくる」では，作品集のつくり方が詳しく掲載されており，3年間の学びの集大成として，卒業を控えた生徒が参考にすることができる。	P.34～35
	巻末資料：「美術館の役割」では，美術館の社会における役割や学芸員の仕事，企画展ができるまでの流れを学ぶことができる。	P.36～37
	QRコンテンツ：各題材や巻末資料には適宜ＱＲコードが掲載されており，関連するＱＲコンテンツとリンクしている。2ページ大で掲載された「洛中洛外図屏風」には，動画付きの音声ガイドが用意され，鑑賞を深めることができる。	教科書全般
	QRコンテンツ：巻末資料「学習を支える資料一覧」のＱＲコンテンツでは，鉛筆デッサンをはじめ，水彩絵の具を用いた風景画や油絵の具を用いた静物画などさまざまな作品の制作手順が，動画で詳しく紹介されている。また，色の仕組みを理解するための色立体の解説動画や，美術史の用語の解説も見ることができ，知識を深めることができる。	P.38～39
❸ 表記・表現および使用上の便宜		
◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ◎印刷の鮮明さ，活字の大きさ，行間，製本などは適切か。	表記・表現：用語や表記は統一されており，記述のしかたも適切である。写真・図版も鮮明で効果的である。	教科書全般
	表記・表現：教科書に使用されているマークは，誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり，学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。	
	造本：A4ワイド判（297×232㎜）の紙面を生かし，2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに，作品を細部まで鑑賞することができる。	
	造本：製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により，画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また，環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。	
	UD・特別支援教育への配慮：カラーユニバーサルデザイン，特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており，誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつくられている。	
	UD・特別支援教育への配慮：活字は鮮明で読みやすい大きさ，フォントが使用されており，キャプションなどの比較的小さい文字にはUDフォントが使用されている。	
❹ 総合所見		
◎上記観点から見た，全体的・総合的な当教科書の特徴。	学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され，表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案，卒業を控えた生徒の参考になる資料などが盛り込まれている。「美術の創造的な諸活動」を通して，「生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅲ」の学習指導要領の目標に合致している。	教科書全般

教授資料のご案内

作品解説から指導案まで,
充実の内容で指導をサポート。

著作者

酒井忠康　［美術評論家・世田谷美術館館長］

伊藤有壱　［アニメーション作家・東京藝術大学大学院教授］
岩佐まゆみ　［大分県立中津北高等学校指導教諭］
上野行一　［元高知大学教授］
ＯＪＵＮ　［画家・東京藝術大学名誉教授］
川上典李子　［デザインジャーナリスト・
21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター］
黒木 健　［元秋田県立西目高等学校教諭］
近藤誠一　［元文化庁長官］
菅沼 聖　［山口情報芸術センター主任エデュケーター］
鈴木雅之　［宮城県柴田郡川崎町立富岡中学校教頭］
タカザワケンジ　［写真評論家］
立川公子　［神奈川県立多摩高等学校教諭］
直江俊雄　［筑波大学教授］
中島千波　［日本画家・東京藝術大学名誉教授］
名取和幸　［色彩学研究者・一般財団法人日本色彩研究所常務理事］
野田弘志　［画家・広島市立大学名誉教授］
藤原えりみ　［美術ジャーナリスト］
三沢厚彦　［彫刻家・武蔵野美術大学教授］
森田りえ子　［日本画家・京都市立芸術大学客員教授］
森山明子　［デザインジャーナリスト・武蔵野美術大学教授］
諸川春樹　［多摩美術大学教授］
安村敏信　［一般財団法人北斎館館長］
渡辺晋輔　［国立西洋美術館学芸課長］

カラーユニバーサルデザインに関する校閲

市原恭代　［工学院大学准教授・
NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構（CUDO）理事］

特別支援教育に関する校閲

佐島 毅　［筑波大学准教授］

編集協力

佐々木秀夫　［宮城県宮城第一高等学校教諭］
丹羽 裕　［宮城県宮城野高等学校教頭］

『高等学校 美術1 教授資料』

主な内容

◎年間指導計画のための資料
◎掲載作品・作家解説
◎教科書題材に沿った学習指導案
◎デジタル教材DVD-ROM
（音声ガイドや技法動画，技法資料図版，
ワークシート集など充実のデジタル資料）
◎美術史年表ポスター（2枚）







A4判・136頁
11,000円（税込）
ISBN　978-4-8138-0375-1

『高等学校 美術2 教授資料』

主な内容

◎年間指導計画のための資料
◎掲載作品・作家解説
◎教科書題材に沿った学習指導案
◎デジタル教材DVD-ROM
（音声ガイドや技法動画，作家・作品
関連動画，ワークシート集など
充実のデジタル資料）



A4判・104頁／8,800円（税込）
ISBN　978-4-8138-0410-9

『高等学校 美術3 教授資料』

主な内容（予定）

◎年間指導計画のための資料
◎掲載作品・作家解説
◎教科書題材に沿った学習指導案

光村図書

●ウェブサイトのご案内

高等学校「美術」教科書に関する情報や，授業づくりに役立つ教授用資料を随時アップしていきます。

www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/k-bijutsu

内容解説資料

発行者：吉田直樹　発行所：光村図書出版株式会社　〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9　電話：03-3493-2111（代表）
光村図書ウェブサイト：www.mitsumura-tosho.co.jp　印刷：梅田印刷株式会社
デザイン：There There　イラスト：朝野ペコ（P.5）　写真：竹達照夫

QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。